



# ネギ編

## 病害虫注意報 2022年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

### ◆ハモグリバエ防除特集◆



By Jerry A. Payne - Invasive.org, CC BY 3.0, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=22162213>

#### 症状

- 幼虫が葉の内部に潜り込み、白い筋状の食害をする
- 成虫は葉の組織内に産卵する
- 成虫は規則的な白い点状に吸汁する
- 近年新たなバイオタイプが増加している

#### 多発条件

- 20～25℃
- 乾燥

#### 対策

- 多発してからの防除は困難なため、発生前の薬剤散布する
- 黄色の粘着版を設置する

### 今月のおすすめ殺虫剤

IRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
4A	社ハモグリバエ、社アザミウマ 等	ベストガード水溶剤	1,000～2,000倍	前日	3回
6	ハモグリバエ類、シロイソナド	アフーム乳剤	1,000倍 (シロイソナドは1,000～2,000)	7日前	3回
13	社ハモグリバエ、社カ シロイソナド 等	コテツフロアブル	2,000倍	7日前	2回
28	ハモグリバエ類、アザミウマ類 シロイソナド	ベネビアOD	2,000倍	前日	3回
28	ハモグリバエ類、カバ社ノコバエ類 シロイソナド、アザミウマ類 等	兼商ヨーバルフロアブル	2,500～5,000倍 (カバ社ノコバエ類は2,500倍)	3日前	3回
30	ハモグリバエ類、カバ社ノコバエ類 シロイソナド、アザミウマ類 等	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	7日前	2回
34	社ハモグリバエ、アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍 (アザミウマ類は1,000～2,000倍)	3日前	2回

### 今月のおすすめ殺菌剤

※野菜類登録

FRAC	対象病害	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
7	黒腐菌核病、白絹病	アフエツフロアブル	1,000～2,000倍 株元灌注	生育期 (14日前)	2回
12	黒腐菌核病、白絹病 等	セイビアーフロアブル20	1,000倍	前日	3回
31	軟腐病	スターナ水和剤	2,000倍	7日前	3回
M01	軟腐病、斑点細菌病 べと病	兼商クプロシールド※	1,000～2,000倍 (軟腐病は1,000～1,500倍)	-	-

### 軟腐病にもご注意ください。

病原菌： *Pectobacterium carotovorum*  
(細菌)

- 収穫期に近づいた成株に発生が多い。
- 葉身の展開部に水浸状の病斑を生じ、茎盤基部が褐変し、地上部は生育不良になる。
- 腐敗部はいずれも特有の腐敗臭を発する。
- 土壌伝染性で、土寄せ・強風などによる葉擦れによって出来た傷から病原菌が侵入する。



参考画像：玉ねぎ軟腐病

### 軟腐病対策に！

## オリゼメート粒剤

- ▶ 植物の病害抵抗性を誘導
- ▶ 持続性に優れた効果

6kg/10a  
土寄せ時  
(但し、収穫30日前まで)  
2回/株元散布

